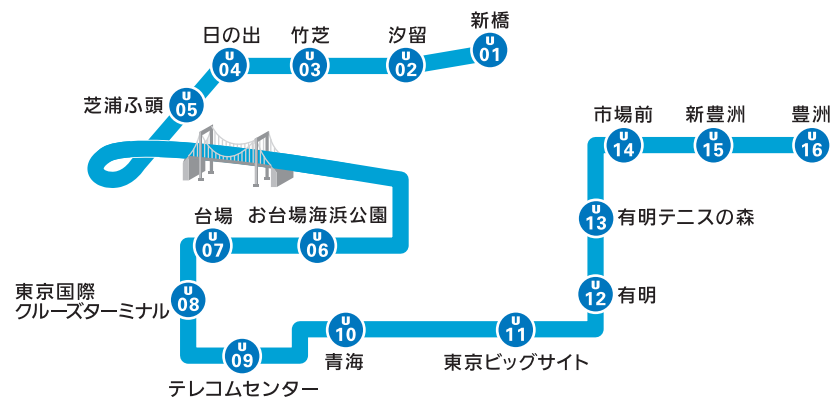


安全報告書

2026



ゆりかもめ 路線図



ゆりかもめ“企業理念”

安全で快適な輸送サービスにより、お客様に笑顔と満足をお届けし、臨海地域、東京の発展に貢献する。

ゆりかもめ“企業スローガン”

わくわくしよう。
未来へ行こう。

この安全報告書は、当社における令和7年度の輸送の安全確保のための取組をまとめたものです。
2026年9月発行

1 ゆりかもめ[安全報告書2026]発行にあたって

平素より新交通ゆりかもめをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
「ゆりかもめ」は、平成7年11月の開業以来、昨年30周年を迎えました。そして、本年は有明駅から豊洲駅までの延伸区間が開業して20周年となります。開業当時と比べると、林立するオフィスビルやタワーマンション、スポーツ・エンタメ領域のイベントを扱う大型集客施設等、沿線の東京臨海地域が日々変貌する様子は、目を見張るものがございます。このような東京臨海地域と都心を結び交通機関として、多くのお客様にご利用いただいております。これまで「ゆりかもめ」をご利用いただき、支えてくださったお客様、そして沿線企業の皆様や関係機関の皆様に、心より感謝申し上げます。
鉄道事業者である当社にとって、安全の確保はすべての事業活動の前提であり、最も重要な責務です。私たちは、「お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない『新交通ゆりかもめ』をめざす」という安全方針のもと、日々の運行管理、車両・施設・電気設備の保守点検、駅でのお客様対応、異常時への備えなど、一つひとつの業務を確実に積み重ねることで、安全で安定した輸送サービスの提供に努めております。これからも「ゆりかもめ」が、人だけでなく、信頼と安心を運ぶ存在であり続けたいと考えています。

令和7年度は、施設・設備面では、ホームドアセンサの導入や、電力設備やエスカレーター等の更新、走行路の補修、7300系車両の中期更新などを実施しました。さらに、令和7年1月に発生した地絡による輸送障害を踏まえ、点検方法等を改めて検証し、ドローンを活用した点検を導入するなど、安全性と信頼性のさらなる向上に向けた取組を進めてまいりました。教育訓練関係では、自然災害や大規模な輸送障害を想定した異常時対応訓練、不法事案に備えた所管警察との合同訓練などを通じ、万一の際にもお客様の安全を最優先に行動できるよう、社員一人ひとりの対応力向上や部門間の連携等にも取り組んでおります。

一方で、飛来物による停電や保安装置の動作不良による輸送障害が発生し、お客様に多大なるご迷惑とご負担をおかけしました。こうした一つひとつの事象を重く受け止め、原因の究明と再発防止を徹底し、輸送障害を未然に防ぐ取組を一層強化してまいります。

近年、私たち鉄道事業者を取り巻く環境は大きく変化しています。気候変動に伴う自然災害の激甚化や、輸送需要の変化、施設・設備の経年劣化、人材の確保・育成、さらには鉄道施設内における不法事案への対応など、安全を脅かすリスクはますます多様化・複雑化しています。こうした環境変化に的確に対応するため、保守点検方法等を不断に見直し、デジタル技術を活用した保守業務の高度化を推進するとともに、施設・設備の計画的な更新を着実に進めてまいります。これからも、過去の事象から学び、新たな技術も取り入れながら、安全性のさらなる向上に全社を挙げて取り組んでまいります。

この報告書は、輸送の安全を確保するために当社が取り組んでいる内容をとりまとめたものです。安全運行の一層の充実を図るため、ご一読いただき、ご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

株式会社ゆりかもめ 代表取締役社長 安部 文洋

2 安全方針と安全重点施策

【1】安全方針

当社では、「安全方針」を次のように掲げ、事業に従事する全社員が一丸となって安全管理体制の強化に向けた取組を行っています。

ゆりかもめ安全方針

私たちは、お客様の安全を最優先に一致協力して、災害に強く、事故のない「新交通ゆりかもめ」をめざします。

- このため、
- 日々、法令・規程を遵守し、忠実に職務を遂行します。
 - 情報を迅速かつ正確に伝えて共有化し、事故の芽を摘むことに努めます。
 - 常に安全に対する問題意識を持ち、必要な改善に取り組みます。
 - 事故・災害等の発生時は、人命救助を最優先に行動します。

【2】安全重点施策

安全性の維持向上を図るための目標と計画を定めた「安全重点施策」を毎年度策定し、設備の改善や各種教育訓練に取り組んでいます。

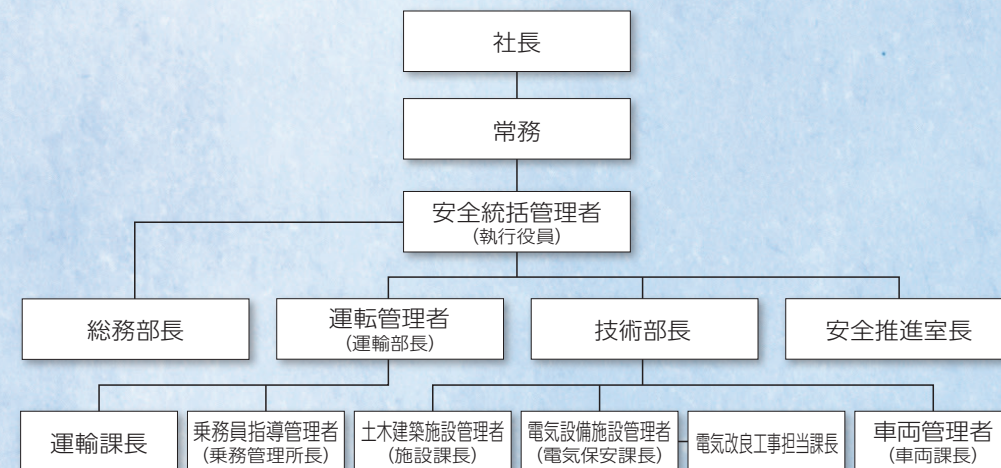
◇令和7年度に取り組んだ内容のうち、主なものは次のとおりです。

区 分	内 容
設備の新設・改修・機能維持	駅間上部工の塗装補修(日の出駅・芝浦ふ頭駅)
	ホームドアセンサの設置(お台場海浜公園駅・台場駅)
	エスカレーターの更新(竹芝駅・東京国際クルーズターミナル駅・芝浦ふ頭駅・青海駅)
	ATC/TDループ線引替(地中埋設部を除く)
	車両電子機器劣化部品の更新(7300系車両中期更新)
教育訓練の更なる充実及び異常時における対応力強化	走行路の保全補修
	事故・災害等を想定した駅間での旅客避難誘導訓練
	列車が自力で走行することができなくなった場合を想定した併結訓練
	テロを想定した警察との合同訓練
	他社の事故の芽情報について背景や原因を分析し、自社に置き換えた対策を検証する研修の実施

3 当社の安全管理体制

【1】安全管理体制図

社長を筆頭とする安全管理体制を構築しています。各責任者の責務を明確にし、安全確保に取り組んでいます。



【2】役職と責務

社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
安 全 推 進 室 長	事故防止に関する事項を統括する
総 務 部 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務及び人事に関することを統括する
運 転 管 理 者	運転に関する事項を統括する
運 輸 課 長	列車の運行管理その他運輸に関する業務を統括する
乗 務 員 指 導 管 理 者	運輸指導の資質保持に関する事項を管理する
技 術 部 長	鉄軌道施設、車両等その他技術に関する事項を統括する
土木建築施設管理者	土木建築施設に関する事項を統括する
電気設備施設管理者	電気設備に関する事項を統括する
電気改良工事担当課長	電気設備の改良工事に関する業務を統括する
車 両 管 理 者	車両に関する事項を統括する

[3]保安対策委員会

ゆりかもめの安全と社員意識の向上を図ることを目的に、社長、役員、管理職及び現場長で構成する保安対策委員会を年5回開催しています。



[4]役員・管理職による職場巡回

役員及び管理職が定期的に各職場を巡回し、安全確認を行っています。また、役員・管理職と社員との懇談会を通じて安全意識の高揚を図っています。



[5]内部監査

安全管理体制が適切に機能していることを確認するため、運輸安全マネジメントに基づく内部監査を毎年実施しています。監査結果を踏まえた適切な改善を行い、スパイラルアップを図っています。



4 令和7年度 鉄道運転事故・輸送障害等の概要

[1]鉄道運転事故(衝突、脱線、火災、人身傷害、物損にかかる事故)

発生していません。

[2]インシデント(鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められるもの)

発生していません。

[3]輸送障害(列車の運休、または30分以上の遅延が発生したもの)

次の2件が発生しました。

ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

発生日時	令和7年4月9日 10時33分
発生場所	芝浦ふ頭駅～お台場海浜公園駅間
概要	芝浦ふ頭駅～お台場海浜公園駅間上り線き電停止及び当該列車の駅間停止を確認しました。その後変電所の点検を行い異常がなかったため、き電を投入し運転再開しました。
影響	運休12本 遅延13本
原因	当該列車の集電装置に飛来物が接触し、短絡が発生したものと考えられます。

発生日時	令和7年11月6日 0時17分
発生場所	東京国際クルーズターミナル駅～テレコムセンター駅間
概要	東京国際クルーズターミナル駅～テレコムセンター駅間下り走行中の当該列車でATC両系故障、ATO両系故障を確認しました。
影響	運休1本 遅延3本
原因	装置等に異常が無かった為、ブレーカーの不具合と推定しました。
対策	当該ブレーカーを新品に交換しました。その他の車両についても、点検を実施しました。

5 輸送の安全確保のための取組

[1]異常時総合訓練

事故・災害時の対応力強化を目的に、対策本部を設置し、各部門全社員が連携して対応するための総合訓練を実施しています。令和7年度は、東京23区を震源とした地震が発生し、列車が駅間に停止した想定で訓練を行いました。



[2]警察との合同訓練

警察と連携し、不法事案を想定した合同訓練を実施しました。



[3]安全のための支出

令和7年度は、安全性の維持向上を図るため、総額34億円を施設や設備の保守管理および更新に充てました。

<主な支出>

- ホームドアセンサの設置(お台場海浜公園駅・台場駅)
- ATC / TDループ線引替(地中埋設部を除く)
- 軌道検査、保守作業委託
- 車両の全般、重要部検査

[4]近接工事の施工協議

当社施設に近接する作業は安全運行に支障を及ぼす恐れがあることから、安全運行を確保するため、沿線で工事や調査等の作業を実施される場合は事前に協議をお願いしております。

また、定期的に沿線を巡回して近接施工状況の安全確認を行っております。



重機を使った作業



足場を使った作業

6 安全を支える設備・取組

ゆりかもめは、新橋駅・豊洲駅など一部の駅を除いて原則無人であり、車両も自動運転により運行しています。お客様の困りごとや緊急時に対応するためのほか、お客様の安全確保のため、次の設備を設けております。

車内のインターホン

車内インターホンを設置しています。急病等でお困りの際には「呼出ボタン」を押してご連絡ください。



駅のインターホン

全駅のホーム中央、インターホン表示付近の「呼出ボタン」を押してご連絡ください。(改札口、券売機、精算機、トイレ付近にもインターホンを設置しています。)

駅の非常停止ボタン

緊急時には、全駅のホーム中央、非常停止(STOP)表示付近の「非常停止ボタン」を押してください。ボタンを押すと列車は緊急停止します。



防犯カメラ

全駅のホーム及びコンコース、車両内の各所にお客様の安全確保や防犯のためのカメラを設置しています。



ホームドア

開業当初より、列車のドアと連動して開閉するフルスクリーンタイプのホームドアを全駅に設置し、ホームからの転落事故や列車との接触事故の防止を図っています。



エレベーター

エレベーターをご利用中にお困りの際は「呼出ボタン」を押してご連絡ください。



安全シューズ

緊急時に安全に避難できるよう、安全シューズをご用意しております。



⚠️お客様へのお願い

- ドアが閉まりかけた列車への無理なご乗車は、危険ですとおやめください。
 - 飛来物が電気設備に付着すると、停電により列車に運休や遅れが発生し、多くのお客様へご不便をおかけする可能性があります。つきましては、以下の点等にご注意いただきますようお願い申し上げます。
 - (1) お菓子の袋やビニール製の紐などが風で飛ばされないよう注意をお願いします。
 - (2) 風船を手から離さないようにお願いします。(風船を飛ばすイベントはご遠慮ください。)
 - (3) 車を運転される方は、積み荷が風に飛ばされないよう適切な管理をお願いします。
 - (4) 沿線で工事等を行う事業者様におかれては、資材等が風に飛ばされないよう適切な管理をお願いします。
- 安全・安定運行に向けて、お客様のご協力をお願いいたします。



お問い合わせ

この安全報告書や当社の安全への取組に対するご意見・ご感想をお寄せください。

株式会社ゆりかもめ

[代]TEL 03-3529-7777

9:00~17:30 (土日・祝日・年末年始を除く)

URL <https://www.yurikamome.co.jp>

